

大軍拡反対請願署名

各地でこんな取り組みが [79]

2025年8月28日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668
〈住所〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-3-3 太陽ビル 402 市民ネット内

★残暑・酷暑お見舞い申し上げます
★通常国会中の「大軍拡反対請願署名」などの提出数は

140万6336人分でした

第217通常国会会期（2025年1月24日～6月22日）中に国会に提出された署名数は下記の通りです。（総がかり行動実行委員会及び9条改憲NO！全国市民アクションなどの諸団体提出の同主旨の署名の合計。衆参両院の請願課が受付た署名数）

◆憲法署名（「憲法の改悪を許さない全国署名」など）	22万0652人分
◆大軍拡反対署名	118万5684人分
◆合計	140万6336人分

各地の行動から（7月下旬～8月上旬）

北海道

・反戦の願い、ずらり

札幌市

平和と民主主義を守る北海道の美術家・美術愛好家ならだれでも出品できる展覧会「第49回北海道平和美術展」が7月30日から8月3日まで開かれ、113人による約240点の作品がギャラリーを埋め尽くしました。

・草の根から平和訴え 6日も9日

札幌駅前

さっぽろ平和実行委員会は8月6日、「核兵器のない 平和で公正な世界を！ヒロシマデー」を実施し、「日本政府に核禁条約批准を求める署名」への呼びかけ等を行いました。

9日にも「核兵器のない公正な世界を 憲法9条を守ろう」と署名宣伝。長崎に原爆が落とされた同時刻には黙とうし、各参加団体の代表がリレースピーチ、核兵器廃絶の願いに背を向ける日本政府を批判しました。

・原爆の火を囲むつどい

札幌市

「原爆の火」がある日登寺境内で、32回目となる「原爆の火を囲むつどい」が開かれ、81人が参加しました。5歳で広島で被爆した金子廣子さんが体験を語り、「元気でいるうちに戦争は絶対だめと訴えていきたい」と力強く訴え、大きな拍手が送られました。

・演習場の真ん中で踊る（たたかう）

別海町

国の土地買収を拒否した反戦地主の遺志を受け継ぎ、陸上自衛隊演習場の真ん中で繰り広げられる「矢臼別平和盆踊り」が、今年も8月9日開かれました。演習の砲弾音が鳴り響く中60回目の平和盆踊りが開かれ、全国各地から400人が集いました。

・治安維持法100年 歴史繰り返さぬ

苫小牧市

「『新しい戦前』を許すな！集会」が8月10日開かれ、治安維持法研究者で小樽商科大学名誉教授の荻野富士夫氏が講演し、150人余が参加しました。

青森 「犠牲になるのは市民」

県生活協同組合連合会と県民生活協同組合の主催で、「夏休み原爆展」が7月25、26日開かれました。夏休みのスタートに合わせて開催され、今年で4回目。当時の写真パネルや広島の高校生が被爆体験証言者から話を聞いて制作した絵などが展示されました。

秋田 排外主義から憲法守ろう

憲法改悪反対秋田県センターは8月9日、定期総会・講演会を開き、県内の戦争遺跡を調査・研究し、平和教育を実践してきた外池智秋田大学大学院教授が講演しました。

岩手

・艦砲射撃「風化させない」

釜石市郷土資料館で艦砲戦災展「艦砲射撃80年～未来に伝えるために」が9月7日まで開かれています。艦砲戦災誌や体験記録集、紙芝居など艦砲射撃に関する資料のほか、市内にあった捕虜収容所の資料など約50点を展示しています。

・原爆死没者追悼式

岩手県、盛岡市、岩手県被団協が共催し、8月6日岩手県原爆死没者追悼式が開かれ、約100人が参加しました。

福島 ジェンダーと戦争学

「2025平和まつり」が8月8日から3日間開かれました。高校生のピースアート展や「中学生による被爆地訪問事業」文集、原爆被災の写真パネル、平和の絵本などが展示されました。また映画の上映なども行われました。

群馬

・前橋空襲追悼 平和の集い

広瀬川畔の「空襲慰靈碑」前で8月5日、「前橋空襲追悼平和の集い」が開かれました。空襲を体験した原田恒弘さんが特別にあいさつし、体験をもとにかかれた紙芝居が上演されました。

・原爆犠牲追悼式

8月9日「県原爆犠牲者慰靈式」が、嶺公園内の「原爆犠牲者慰靈碑」の前で開かれ、広島で被爆した2人の被爆者を含む約60人が参加しました。

栃木

・「核抑止力はありえない」

今市平和委員会は8月2、3日、原爆写真展を開催しました。被団協が制作したパネル「原爆と人間」や、広島の高校生が描いた絵、シベリヤ抑留者の遺留品など、約70点が展示されました。

・平和コンサート

8月9日道の駅日光で「非核平和コンサート2025」が開かれました。同市に保管されている“疎開ピアノ”（東京からの学童疎開を受け入れたお礼として送られた）が使われました。“昭和19年8月、東京都南海国民学校”とするプレートがあります。

千葉 「昼なのに夜」原爆展で被爆者証言

県原爆被爆者友愛会は8月6～8日、パネル展示やビデオ上映などの原爆展を開催し、7日には船橋市在住の加藤朝太郎さんが長崎市内での被爆体験を語りました。

埼玉

・未来への危機感表現

「第59回埼玉平和美術展」が8月5日から10日まで開かれ、絵画や切り絵、書、写真、立体作品、若手作家による企画展示など、137人による多彩な281作品が展示されました。

・次世代へ語り継いで

「第 29 回原爆と人間展」が 8 月 10 日まで開かれました。被団協のあゆみの展示などが並びました。

・被爆を「語り継ぐ」

所沢市

西武革新懇は 8 月 9 日、サマーパーティーを開催し、今年は「語り継ぐ」というテーマで長崎原爆被爆者の証言をもとに高校生が描いた絵をスライド上映しました。

・9 条は反省と決意

入間市

「女の平和 in いるま 8・9 レッドアクション」が 8 月 9 日行われ、「戦争法成立から 10 年 敵基地攻撃は違法」「戦争準備より平和の準備」「9 条は戦争を起こしたことを反省し、二度と過ちはすまい」という決意」などと訴えました。

東京

・「平和守りたい」思い共有

新宿駅前

総がかり行動実行委員会と、9 条改憲 NO ! 市民アクションは 7 月 30 日、「排外主義 NO ! 敗戦・被曝 80 年不戦の誓い忘れない 憲法守りいかそう the END 自民党政治」を掲げて、新宿駅東南口で宣伝・署名行動。25 人が参加、大軍拡反対請願署名は 10 人。

・デマと差別を許さない

新宿駅前

「デマと差別が蔓延する社会を許しません」とアピールする集会が 8 月 1 日開かれ、1500 人が集まりました。「NO RACISM」などの旗がなびき、「差別許さない」とプラカードを持つ人などであふれました。

・今こそ共生社会を

国会前

思い思いのプラカードを一斉に掲げる定例の「3 の日行動」が国会正門前であり、約 120 人が参加。「憲法 9 条を守ろう」のほか、「今こそ共生社会を」など排外主義に抗議するプラカードを持つ人の姿もありました。

・核兵器早くなくして

江東区

「戦争法の廃止を求める砂町の会」は 8 月 3 日、被爆 80 年街頭アピールを行ないました。「核兵器禁止条約に日本政府の参加を求める署名」には 16 人がサインしました。

・反戦アクション 29 回目

小金井市

29 回目の反戦アクションが 8 月 3 日開かれ、音楽ライブや市民へのアピールなどが行われ、約 60 人が参加。署名や対話など、今までにない反応がありました。

・平和のための原爆展

日野市

市民による実行委員会の主催で、今年初めて平和のための原爆展が 8 月 6、7 日開催されました。絵画、写真、音楽、朗読などと共に、日野市内の軍需工場や空襲についても紹介され、予想を大きく超える参加がありました。

・アジアの平和求めて

千代田区

主婦連合会と日本消費者連盟は 8 月 8 日、「武力より対話プロジェクト」の一環として、「アジアの平和を求めて市民がつながろう」と題したシンポジウムを開き、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「ピープルパワーが社会を変える」と題して講演。また各地の取り組みが紹介されました。

・雨の中 200 人参加

東久留米市

8 月 10 日、「東久留米平和のつどい」が開かれました。歌やフルート、ギターの演奏、読み聞かせや紙芝居の他、原爆写真展、東京大空襲絵画展などの展示が行われました。

山梨

・「平和続いて」 戦争展

山梨市

「第 2 回山梨市平和のための戦争展」が 8 月 4 日から 12 日まで開かれ、原爆パネルや市民が寄せた戦争の遺品、鉄の造形作家・武田美通さんの作品「戦死者たちのメッセージ」30 点が展示されました。

・平和を願い 非戦の展覧会

北杜市

県内の作家が「平和の想い」をこめた絵画、造形、詩、短歌などの作品を展示する「非戦の想像力展」が 8 月 8 日開かれました。今年で 21 回目です。

長野

平和のための戦争展

長野市

8月1～3日、「第36回平和のための信州・戦争展 in 長野」が開かれ、画家、ジャーナリスト、被爆俳人の教え子が平和の思いを語り、参加者と学びあいました。

新潟 人命・平和の尊さ真剣に 長岡市

長岡空襲から80年を迎えた8月1日、犠牲者を追悼する集会などが終日開かれ、市主催の「平和祈念式典」には諸中学生など850人が参加し、空襲で亡くなった1489人など戦没者に黙とうしました。

富山 核も戦争もない世界に 富山市

原水爆禁止富山県協議会と富山大空襲を語り継ぐ会は8月1日、富山大空襲の死没者を追悼し、核兵器も戦争もない世界を願う市民平和大行進を行いました。

石川 金沢市

・戦争の悲惨伝えよう

「反核・平和おりづる市民のつどい2025年」が8月1日県庁で行われました。原爆の実相を伝えるパネル展示や被団協のノーベル平和賞授賞式ツアーの参加報告などが行われました。

・パネル展示

新日本婦人の会金沢支部は8月6日、市内の繁華街で、原爆の絵とパネル展示を行い、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める署名を呼びかけました。

静岡 空自戦闘機の展示飛行やめよ 御殿場市

8月3日に実施される富士登山駅伝競走の開会式で、航空自衛隊の戦闘機T4による展示飛行の計画に対し、県平和委員会などが7月30日、中止を求めて御殿場市の勝又正美市長に申し入れました。

愛知 名古屋市

・禁止条約批准 大きな願い

戦争や被爆体験を伝え、平和への思いを語り合うシンポジウムが8月2日開かれ、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の代表理事、金本弘さんが講演。戦争も核兵器もない世界をどのように実現していくかについて、若い世代らと交流しました。

・ジェノサイドやめろ

2023年10月のイスラエルによるジェノサイド直後から続くガザ緊急アクションなどの集会・デモが8月3日開催されました。「イスラエルは虐殺やめろ！」などのコールには、拍手で賛同の意思を示す人など多くの反応がありました。

・戦後80年 美化も風化もさせない

舞踏家と演劇人でつくる核兵器廃絶・平和を守る名古屋舞台人の集い（反核舞台人の集い）が、反核・平和をテーマに8月7日に行われました。

・反戦の意思、文化で

市民ギャラリーで8月10日まで「あいち平和美術展」が開催されました。今年が65回目となります。平和を願う人ならば誰でも出品が可能でテーマは自由。風景画や生物画から戦争の恐怖を想起させるものまで多彩な作品が並びました。

・歌やダンスで平和を

第3回「ピースアクションみよし」が8月10日開催され、180人が参加。2021年同市で非核平和都市宣言を全会一致で採択したこときっかけに始まったものです。

・小雨の中 平和マラソン

新日本スポーツ連盟愛知県連盟は8月10日、「第25回あいち反核・平和マラソン＆ジョギング」を開催し、2キロをランニングし身に着けたゼッケンなどでアピールしました。

岐阜 岐阜空襲の実相子らに伝える 岐阜市

「岐阜空襲から80年、市内の戦争遺跡をふりかえろう」と題して、市立図書館で「子

どもたちに伝える平和のための資料展Ⅱ」が8月8日まで開かれました。市内の戦争遺構パネルが展示され、「岐阜空襲80年平和動画」が上映されました。

三重　語り継ぐことに大きな力を貢う

亀山市

戦争遺跡に平和を学ぶ亀山の会は8月2日、亀山駅を出発した列車が米軍機の銃撃を受け40人以上が亡くなった事実を多くの人に伝えたいと、9回目を迎える「平和を考える市民のつどい」を行いました。

滋賀　世界平和願って

高島市

安曇川公民館で平和の美術展・戦争展が8月1日から4日まで行われました。陸上自衛隊饗庭野演習場の危険な実態を告発したパネルや、市民が提供した戦時中の資料、絵画、写真、絵手紙などが展示されました。

京都

・弾薬庫工事認めない

京都

陸上自衛隊祝園分屯地で8月中にも弾薬庫を増設する造成工事が予定される中、京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワークは8月4日、近畿中部防衛局が主催する住民説明会の開催を求める声明を発表し、同局あてに送付しました。

・キャンドルビジル

京都市

京都被爆2世・3世の会は8月6日と9日、「被爆80年の夏、原爆と核の犠牲者を追悼するキャンドルビジル2025」を実施。原爆の実相を知らせるパネルを並べ、その前で手にキャンドルを持って静かにアピールしました。

大阪

・イスラエルへ支援やめよ

大阪市

大阪平和委員会、大阪原水協、大阪労連、大阪革新懇は7月31日、米領事館前で、「ガザ地区の恒久停戦」「パレスチナに平和を」「アメリカはイスラエルへの支援をやめよ」とスタンディング抗議行動に取り組みました。毎月行い、今回で21回目です。

・平和への思い新たに

大阪市

「音楽を愛し、平和を希う（こいねがう）。グローバル・ピース・コンサートin OSAKA2025」が、8月9日開かれました。関西を代表するさまざまなジャンルの音楽家有志が出演し、音楽を通じて平和への思いを新たにするひとときとなりました。

奈良

「香芝（かしば）戦争展」

香芝市

第24回平和のための香芝戦争展が8月9、10日開かれ224人が参加。市民から提供された戦争遺品・資料の展示や講演会、アニメ「対馬丸」の上映などがありました。

和歌山

・大軍拡やめ生活苦解決を

和歌山市

和歌山憲法会議は8月2日、2025年総会と終戦記念講演会を開きました。神戸女学院大学石川康宏名誉教授は講演の中で「軍事費だけが突出している」「長距離ミサイル配備が中国との緊張状態を悪化させている」と指摘しました。また参院選の結果について、「消費税減税が」大争点だったのに外国人排除に捻じ曲げられた」「参政党への支持は、生活苦からくる『日本人ファースト』の選択であり、同党支持者を共に考える相手としよう」と呼びかけました。

・語り継ごう日高大空襲

御坊市

御坊商工高校地歴部・社研部の1986年度の卒業生らは8月3日、「戦後80年今こそ語り継ごう日高大空襲」を開き、高校生らが紙芝居で空襲を語り継ぐ取り組みを行いました。

兵庫

すらり力作230点

神戸市

第58回兵庫県平和美術展が7月30日から8月3日まで、原田の森ギャラリーで開かれました。

れました。「平和の壁に花一輪を」を合言葉に、114人の出品者が、絵画、書、写真、木彫り、切り絵、絵葉書、漫画、民芸など230点を超える作品を出品しました。

岡 山

・戦争だめの思い絵で

岡山市

憲法を守り、平和を願う美術家や市民が出展する「岡山九条美術展」が8月5日から10日まで開かれました。今年で21回目です。

・核廃絶訴え

高梁駅前

高梁9条の会と原水爆禁止高梁地区協議会は8月6日、「核兵器禁止条約に参加する政府にしよう」と訴えました。毎月行ってきた共同行動は214回目になります。

広 島

・「平和夏のつどい」

広島市

広島医療生活協同組合は7月30日、「若い世代が継ぐ平和のバトン」をテーマに恒例の「平和夏のつどい」を開き、核兵器廃絶に向け、交流し、オンラインを含め約150人が参加しました。

・「被爆者の思いつなぐ」

広島市

「原爆犠牲ヒロシマの碑」の第44回碑前祭が8月5日、元安川東岸の碑前で営まれ、約150人が参列、原爆投下時刻の午前8時15分に黙とうしました。

・核廃絶誓い平和に尽くす

広島市

「第56回韓国人原爆犠牲者慰靈祭」が8月5日、平和記念公園内の碑前で営まれ、この1年間に亡くなった10人を追加した2824人の死没者名簿を修めました。

香 川

核も戦争もない世界へ

高松市

第69回香川県母親大会が8月3日開かれ、オンラインを含め約200人が参加しました。被団協の松浦秀人代表理事が「被爆80年・核兵器の禁止と廃絶に向かって～母の被爆体験とノーベル賞受賞式～」をテーマに記念講演しました。

徳 島

憲法に基づく政治を

徳島駅前

徳島憲法共同センターは8月3日、「デマ・差別を許さない」「差別・分断を許さない」のプラスターを掲げて宣伝、リレートークで訴えました。

愛 媛

・空港の軍事利用拒否して

松山市

愛媛県平和委員会と新日本婦人の会県本部は7月29日、中村時広知事あてに「松山空港の『特定利用空港』指定による軍事的な活用を拒否し、県民への説明責任を国が果たすよう求める要望書」を提出しました。

・平和の取り組みに活用の折り鶴を3か国へ

松山市

原水爆禁止国民平和大行進四国コース愛媛県実行委員会は、平和の死者の千羽鶴を海外へ送る集いを8月1日に行いました。核兵器のない世界への願いを込めて折った約15万5000羽の折り鶴を箱詰めし、アメリカ、イギリス、フィリピン3か国の5つの反核・平和団体に発送しました。

・活動いよいよ重大にと警鐘 県民の会が講演会・総会

松山市

憲法9条を守る愛媛県民の会は8月3日、九条の会事務局の渡辺治一橋大学名誉教授の講演会と第22回総会を開き、110人が参加しました。渡辺氏は講演で、石破政権が瓦解しても軍拡と改憲の動きが加速する危険があると警鐘を鳴らしました。

高 知

被爆国が「核で脅せ」と米軍に迫る ありえない！

高知市

「台湾有事」を想定した日米両政府の机上演習の席上、自衛隊が米軍に核兵器使用の「核の脅しをせよ」と求めていたことが報じられている問題を重視し、緊急抗議集会が8月1日、県庁前で開かれ、40人が参加しました。主催は郷土の軍事化反対県民ネット。

福 岡

・日中友好・不再戦へ尽力

大牟田市

第2次世界大戦末期に強制連行されて亡くなった中国人労働者を追悼する「三井三池炭鉱宮浦坑中国人殉難者慰靈碑第13回慰靈祭」が8月3日開かれ、約50人が参列しました。稻村晴夫福岡県連会長は、「日中友好、不再戦のために大いに尽力していこう」と呼びかけました。

・平和へ「小さい力だけど貢献」

福岡市

原水爆禁止世界大会福岡西部地区実行委員会は8月3日、世界大会の成功に向け、学習会を開きました。「核兵器禁止条約の決議に対して日本の立場は」や「核兵器が使われるかもしれない状況をどう伝えたらいいか」など意見を交わしました。

長崎

・25年後の被爆者の写真

長崎市

日本リアリズム写真集団長崎支部は、7月31日から8月11日まで、被爆から25年後の被爆者の写真を撮影した写真展「長崎の証言」を開催しました。未来に引き継ぐべき被爆者の姿を見て欲しいと企画しました。

・オスプレイいらない

佐世保市

佐賀空港に配備された陸上自衛隊のオスプレイが、8月4日から佐世保市柏浦駐屯地へ飛行訓練で飛来することに対する抗議が、8月3日行われました。

・高校生「平和な世界実現へ」

長崎市

第86回ナガサキ不戦の集いが8月15日、人類不戦の碑前で開かれ、被爆者や高校生など約40人が参加しました。

熊本

・ミサイル配備計画に抗議

熊本市

政府・防衛省が長距離射程ミサイルを陸上自衛隊健軍駐屯地に配備しようと計画している問題で、市民グループが8月4日、配備計画の撤回を求める緊急抗議集会を開き、約100人が参加しました。

大分

俳句に平和願う

大分市

9条を守り平和を願う県内の俳人・愛好家らが集い「第19回平和・九条俳句大会」が8月3日開かれ、約40人が参加し、24都道府県の202人から寄せられた742句の中から選ばれた入選作品の発表と表彰がありました。

鹿児島

原爆写真展で実態伝える

鹿児島市

新日本婦人の会すみれ班が主催した「原爆写真展」が8月6日開催されました。「核廃絶の声を身近なところから発信していきたい」「原爆の非人道性を若い人たちにこそ伝えたい」との思いで開催されました。

平和の鐘つき

8月6、9日、全国各地で平和を願って鐘をつく取り組みが行われました。

- ・栃木県 さくら市 東輪寺
- ・埼玉県 入間市 高倉寺・不動院、寄居町 町内8カ所
- ・愛知県 あま市 実成寺
- ・京都府 京都市 本久寺
- ・大阪府 大阪市 妙徳寺
- ・鳥取県 鳥取市 畿竟院
- ・徳島県 岡山市 東林寺
- ・佐賀県 佐賀市 真覚寺 など